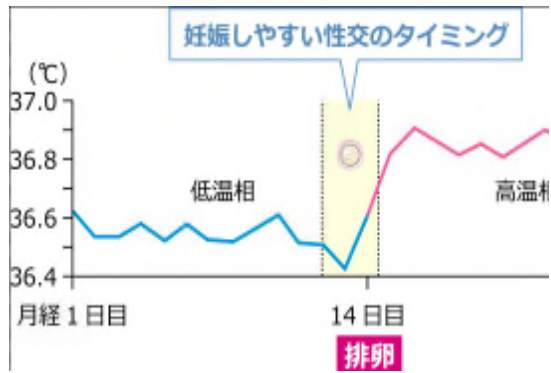


不妊治療の概要

一般不妊治療

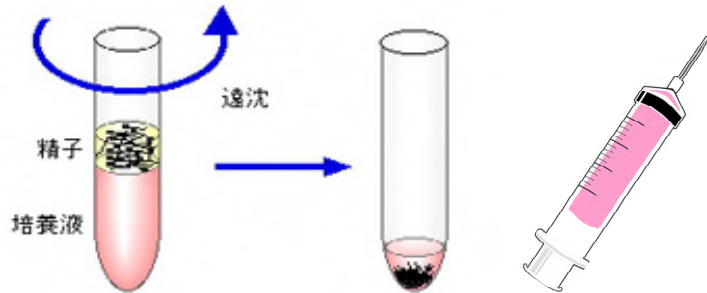
① タイミング法



- 超音波検査や排卵検査薬を使用して性交のタイミングを決める。
(少量の排卵誘発薬を併用する場合あり)



② 人工授精



- マスターベーション等により精子を採取する。
- カテーテルを用いて調整精液を子宮内に注入する。
(少量の排卵誘発薬を併用する場合がある。)

特定不妊治療

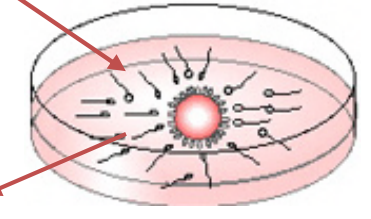
③ 体外受精



卵子



受精卵



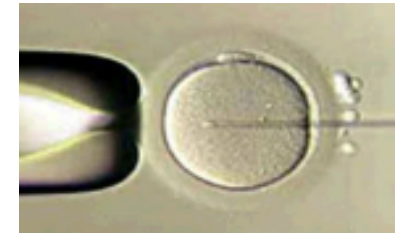
卵子と精子

- 卵巣を穿刺し採取した卵子を、シャーレ上で精子と受精させる。
- 受精卵は3～5日培養を行った後、子宮内に移植する(※1)もしくは凍結保存(※2)。

※1 新鮮胚移植：受精が成立した後に子宮にそのまま移植

※2 凍結胚移植：受精が成立した後、母体の状態等を踏まえ、一旦凍結し、適切な時期に子宮へ移植する

④ 顕微授精



- 顕微鏡下に、卵子内に精子を1つ注入する。
- 精子数が少ない場合に実施するため、男性不妊治療との組み合わせが多い。
- 体外受精が複数回不成功の場合にも実施。
- 受精卵は3～5日培養を行った後、子宮内に移植する(※1)もしくは凍結保存(※2)。